令和3年度　土曜日の教育支援　活動事例一覧

市町名	教室数	活動名	主な実施場所	委託	委託団体名
湖南市	9	いしべっ子学習教室	石部まちづくりセンター		
		みなみっこ土曜講座	石部南小学校		
		さんさん教室	学区内のまちづくりセンター など公共施設		
		ひがしっこ教室	三雲まちづくりセンター		
		学校・地域で学ぶ土曜日教室	菩提寺小学校		
		菩提寺学区土曜日の教育支援活動	菩提寺北小学校 菩提寺まちづくりセンター		
		土曜教室	岩根まちづくりセンター		
		しもだっこ土曜教室	各地区の自治会館		
		やってみよう！！みとっこ	水戸小学校		
東近江市	16	蒲生マックスクラブ 茶道クラブ	蒲生コミュニティセンター	○	蒲生地区 地域教育協議会
		蒲生マックスクラブ ガリ版クラブ	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ マックスダンス　初級	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ マックスダンス　中級	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ マックスダンス　上級	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ KIDS　FLOWER（キッズフラワー）	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ あかねジュニアバンド	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ 陶芸クラブ	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊	蒲生コミュニティセンター	○	
		蒲生マックスクラブ 蒲生野太鼓わらべ組	蒲生コミュニティセンター	○	
		キッズダンス（初級）	わたむきホール	○	玉緒地区 地域教育協議会
		キッズダンス（中級）	わたむきホール	○	
		小学生のプログラミング教室	玉緒小学校	○	
		中学生のプログラミング教室	池田町　葉菜屋の母屋	○	
		農業体験・田園アートクラブ	上大森町　農地・田	○	
		小中学生のネイティブスピーカー英会話	村町の公民館等	○	
竜王町	5	竜王キッズクラブ　クッキングクラブ	竜王町農村女性の家 竜王町公民館		
		竜王キッズクラブ　サイエンスクラブ	竜王町公民館　他		
		竜王キッズクラブ　書道クラブ	竜王町公民館		
		竜王キッズクラブ　チャレンジクラブ	竜王町公民館　他		
		竜王キッズクラブ　竜王ユースブラス	竜王町公民館　他		

地域で子どもたちを支えるいしべっ子学習教室

湖南市	活動名 ： いしべっ子学習教室	石部小学校	学校運営協議会 ： ■有 □無

主な活動場所：石部まちづくりセンター　　開始年度：平成 27 年度：
年間開催日数：５日（10 回）　　地域学校協働活動推進員数：１人
平均参加人数：75 人　　平均スタッフ数：13 人
・活動内容：■学習支援　□体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■ 活動の概要・特徴的な活動
長期休業期間に集中して学習に取り組める場を提供し、子どもたちの学習意欲が高まるよう支援している。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
まちづくり協議会に協力を依頼し、会場を校区の中心にあるまちづくりセンターに設定した。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫（コロナ禍における工夫・対応等）
学校運営協議会の学習支援委員会が中心となり、協議し、子どもたちが安全に楽しく学習できるように配慮した。参加児童には、ふりかえりを書いてもらい、自分の学習内容を確認させている。また、プラス学習としプリントやオリジナルワークを用意し、終了時間までしっかりと学習できるようにした。
コロナ対策として、１日の開催を２回に分け、密にならないような参加人数にした。受付前に児童の検温、手の消毒、前半と後半の間に机などの消毒作業も徹底した。

【 冬休み学習教室 】

■ 事業の成果と課題
地域の学習支援ボランティアやまちづくり協議会の協力に支えられ、のべ 372 人の子どもたちが参加し、集中して学習に取り組めた。いしべっ子学習教室が児童や保護者にも浸透し、毎年参加してくれる児童が増えてきている。

報告書記入者（　地域学校協働活動推進委員　）

地域探検！（私たちの湖南市を巡ろう！）

湖南市	活動名 ：みなみっこ土曜講座	石部南小学校	学校運営協議会 ： ■有 □無

主な活動場所：石部南小学校　　開始年度： 平成 28 年度：
年間開催日数：12 日　　地域学校協働活動推進員数：１人
平均参加人数：41 人　　平均スタッフ数：10 人
・活動内容：■学習支援　■体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■ 活動の概要・特徴的な活動
３年生社会科の自分たちの市を知る学習で、湖南市の施設やそのような仕事をしているかなどを詳しく学習した。

■ 外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
湖南市役所・市議会、善水寺、湖南市社会福祉協議会、消防署、長寿寺を訪問。
子どもたちからの質問等は事前に聞き、訪問先へ事前に内容を伝えた。
市職員や議会担当者、お寺の方たちの話をしっかり聞くことができた。

■ 体系的・継続的な取組にするための工夫 （コロナ禍における工夫・対応等）
湖南市を巡る取り組みは昨年度からはじまり今年度も続けることができた。
市議会の全面的な協力を得ることができた。

【 湖南市議場見学の様子 】

■ 事業の成果と課題
湖南市議会では議長自ら対応していただいた。子どもたち全員が議場の議員席や職員席に座らせてもらい、議長や教育長に質問し、答弁という形で本格的な議会の体験をすることができた。
長寿寺地域の伝統行事のお話を聞き、昼食会場に庵を使わせていただき安全に食事をとることができた。
訪問先の滞在時間が決められており、次の行き先に遅刻しないように行動するため、子どもの質問を途中で切り上げなければならないことがあった。

報告書記入者（　地域学校協働活動推進委員　）

地域ぐるみで こどもを見守る「さんさん教室」

湖南市	活動名 ： さんさん教室	三雲小学校	学校運営協議会 ： ■有 □無

主な活動場所：学区内のまちづくりセンターなど公共施設　　開始年度：平成 27 年度：
年間開催日数：10 日　　地域学校協働活動推進員数：1 人
平均参加人数：20 人　　平均スタッフ数：10 人
・活動内容：■学習支援　■体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動

夏休みの宿題や自主学習の支援。地域で活動されている樹脂粘土の講師を招いて「はし置き」を制作。お抹茶の体験学習。秋季には「歴史探訪」（妙孝寺・常照寺）

【　はし置き作り　】

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

みくも学区まちづくり協議会と連携することで、材料費の支援を受けたり各地区からスタッフを配置することで安全面にも配慮することが出来た。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）

コロナ対策として、検温.消毒.換気をし、一会場の人数を減らすため下学年(1-3 年)と上学年(4-6 年)に日程を分けた。飛沫防止対策として会話が少なくなるよう「樹脂粘土ではし置き作り」を主に取り組んだ。「歴史探訪」は屋外活動だが、マスク着用を徹底した。

■　事業の成果と課題

学習だけでなく、作品作りに取り組むことで、集中する時間が増えたように感じる。「抹茶体験」では自分でお茶を点てるという貴重な体験ができ、毎年人気となっている。「歴史探訪」は地域の歴史を知るよい機会なので、発信の仕方を工夫し、参加者を増やしていきたい。

■　その他

今年度は中学生による「スモールティーチャー」を復活させた。

緊急事態宣言のため 8 月の開催（ 8/23～27 ）は中止にし、樹脂粘土の材料・テキストを個別配布し、自宅で制作するようにした。

報告書記入者（　地域学校協働活動推進員　）

地域と協働して開く「ひがしっこ教室」

湖南市	活動名 ： ひがしっこ教室	三雲東小学校	学校運営協議会 ： ■有 □無

主な活動場所：三雲まちづくりセンター　　開始年度：平成 26 年度：
年間開催日数：10 日（開催ペース：夏休み８回／秋２回）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：30 人　　平均スタッフ数：13 人
・活動内容：■学習支援　■体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動

地域で活動されている講師を招いての樹脂粘土を使った箸置き作り、お抹茶体験、折り紙アート（うちわ作り）、お習字教室、夏休みの課題学習、自主学習の支援、秋季には、ふるさと歴史探訪（妙孝寺、常照寺）を甲西中学校区の三雲小学校と合同で実施。

【　習字教室の様子　】

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

みくも学区まちづくり協議会と連携し、材料費の支援、講師、スタッフの派遣に協力いただいた。

地域のボランティアセンター（ボランティアグループ）の活用。

卒業生（大学生）への参加呼びかけ。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）

コロナ対策として、会場での検温、消毒、マスク着用、換気、実施前後の机・椅子の消毒作業、密を避けるため広い部屋の利用、学年を 1～3 年生・４～6 年生に分けて参加日を設定。参加者の多い日は、複数の部屋を確保して開催した。ふるさと歴史探訪においても、検温、マスク着用、消毒を徹底し実施した。

■　事業の成果と課題

・ここ数年、夏休みの課題だけでなく体験学習を取り入れているため、コロナ禍でも参加者は多い。会場での検温、消毒、換気等も徹底し、参加者、スタッフ共に安心して参加できる場になっている。
・学年により製作時間に差があり、低学年の参加が多い日は課題学習の時間が少なくなった回があった。時間に余裕を持ってできる内容を検討したい。
・今年度は、甲西中学校から中学生（卒業生であり、ひがしっこ教室参加経験者）をスモールティーチャーとして参加してもらうことができた。支援する側になって参加してくれる生徒がいることは、取り組みを継続している大きな成果である。

報告書記入者（　地域学校協働活動推進員　）

自分たちの地域を知って、いろいろ学ぼう！

湖南市	活動名　：学校・地域で学ぶ土曜日教室	菩提寺小学校　学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：菩提寺小学校　　開始年度：平成 26 年度：
年間開催日数：７日　　地域学校協働活動推進員数：２人（兼務２人）
平均参加人数：37 人　（R3. 12 月現在）　　平均スタッフ数：７人
・活動内容：■学習支援　■体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
　昨年に続き、コロナ禍で当初計画していた郷土学習など年間 10 回の活動が一部中止になってしまった。今年度の活動回数は７回（内、２回は２・３月予定）になる。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
　夏休み勉強会には、本校卒業生を中心に多くの中学生が支援に来てくれた。自分も参加していた勉強会に今度はサポーターとして参加してくれてうれしく思う。
　学区内の資源（竹林の竹）を利用した物づくりを、まちづくり協議会の協力を得て体験することも続けている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
　コロナ禍での対応は、密にならないよう活動場所を分け、マスク等の徹底は継続中。

【　夏休み勉強会の様子　】

■　事業の成果と課題
　各回参加した児童たちは、制限のある中できちんとルールを守り有意義な時間を過ごしたと思う。親子で取り組む活動もあり、この事業が保護者により認識されるきっかけになればと思う。

■　その他
　いろいろ制限のある中で、学校・地域・家庭が協力しながら活動できたことは、大きな成果である。

報告書記入者（　　地域学校協働活動推進員　　）

土曜日の教育支援活動　　～地域の子供がつながる～　わくわく体験・学習教室

湖南市	活動名：菩提寺学区土曜日の教育支援活動	菩提寺北小学校　学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：菩提寺北小学校・菩提寺まちづくりセンター　　開始年度：平成 22 年度
年間開催日数：７日（開催ペース：1. 2 か月に１回）　　地域学校協働活動推進員数：１人
平均参加人数：40 人　　平均スタッフ数：５人
・活動内容：■学習支援　■体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
　菩提寺学区にある菩提寺北小学校と菩提寺小学校の２校が菩提寺まちづくり協議会支援の下、毎年 10 回開催予定で計画を立てているが、今年度は３回中止となり７回開催
（学習教室２回・絵画教室・クリスマスカード作り・習字教室・竹馬作り・ポンポン船作り）　計７回　実施

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
　講師や指導はすべて地域の方にお願いしている。地域からも支援員さんとしてたくさんの方がサポートしてくれ、スムーズな体験活動ができている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
　２校が集まっての開催なので、参加者の安全を最優先に感染予防対策を徹底する。受付で全員検温チェックし、密にならないように大きな会場で、換気にも気を付けて開催。

【　クリスマスカード作り　】

■　事業の成果と課題
　今年度もコロナの感染状況で３回は中止になったが、後半はしっかり感染対策をして開催した。

■　その他
　来年度より、まちづくり協議会のサポート体制が少し変わるので、今年度をしっかり終えて来年度につなげていきたい。

報告書記入者（　　地域学校協働活動推進員　　）

自尊感情を高める学習支援　　～ できた！わかった！が実感できる ～

湖南市	活動名　：　土曜教室	岩根小学校　学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：岩根まちづくりセンター
年間開催日数：20 日　　地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）数：１人
平均参加人数：６人　　平均スタッフ数：８人　　開始年度：平成 22 年度
活 動 内 容　：■学習支援　□体験活動　□　芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動

３～４年生の通常学級で個別の指導・支援を要する児童のうち、校内の協議結果に保護者の合意が得られた児童を対象として個別の学習支援を実施している。形態は、全体指導者１名と個別対応者約６名と事務局１名でなされている。国語と算数の基礎的内容を窓口として自尊感情を高めることを目指している。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

主に校区在住の元教員や保育士および教育や福祉等を志す学生等で、前任者からの情報により土曜教室に興味を持って市外から参加する学生もいる。

【　ほめて･認めて･励ます　】

■　体系的・継続的な取組にするための工夫

・指導・支援の質が保てる範囲を維持できる人数にすること。
・毎回行うスタッフによる反省会によって、個々の児童の課題を共有し、個に応じた手立てを決定する。
・休憩時間には、学生スタッフによるグループワークを導入。

■　事業の成果と課題

〇失敗経験が多いため、自信を失っている児童が多い。根気よくほめて認めて励ますことで、児童の自信につながり、自尊感情が高まり、学ぶ意欲を引き出すことができた。
〇１対１対応での支援によって、かけ算の九九やカタカナ･漢字の習得ができてきた。
〇カルタなどのグループ活動によって、よりよい人間関係づくりができた。
●家庭の状況が厳しく、途中から参加が難しくなる場合がみられる。

（　報告書記入者　校長　）

～ しもしょうサマースクール 2021 ～　「らくらく勉強会」との協働とコロナ禍２年目の対策

湖南市	活動名　：　しもだっこ土曜教室	下田小学校　学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：　各地区の自治会館　　開始年度：　平成 26 年度
年間開催日数：　８日　　地域学校協働活動推進員数：　２人（兼務２人）
平均参加人数：　20 人　　平均スタッフ数：　10 人
・活動内容：■学習支援　□体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動

昨年度、コロナ禍という状況の中でも実施することができた「らくらく勉強会」との共催で今年度も実施した。昨年度の会場は下田まちづくりセンターだけだったが、今年度は、感染対策の一環として各地区の自治会館を会場として利用した。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

・「らくらく勉強会」との共催で実施したことにより、昨年度も地域のボランティアの参加が多かったが、住んでいる地区の自治会館を利用したこと、通常の「らくらく勉強会」と同じ曜日に同じ地区で実施したことで参加しやすくなった。
・昨年度は中学生ボランティアの参加はできなかったが、今年度は通常の「らくらく勉強会」にボランティアとして参加している中学生が参加することができた。

【　会場での様子　】

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）

・昨年度と同様「らくらく勉強会」に通っている子どもたちに限定して参加を募った。
・通常の「らくらく勉強会」と同じ会場、同じ曜日に実施することで子どもたちの参加定員を拡大しつつ３密の回避をした。

■　事業の成果と課題

・感染症対策とはいえ２年続けて「らくらく勉強会」に通っている子どもたちだけの参加になっているのは不公平に感じる。コロナ後は下田っ子全員を対象に参加を募りたい。
・夏休みの宿題を進めるということも大切だが、それ以上に子どもたちにとって「自分のことを見てくれる存在」も大切なこと。これからもボランティアとともに子どもたちの見守りに力を入れていきたい。

報告書記入者（　地域学校協働活動推進員　）

やってみよう！みとっこ　～小学校、地域との連携、小・中連携の取組～

湖南市	活動名　：やってみよう！！みとっこ	水戸小学校　学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：水戸小学校　開始年度：平成 26 年度：
年間開催日数：10 日　地域学校協働活動推進員数：２人（兼務３人）
平均参加人数：23 人　平均スタッフ数：３人
・活動内容：■学習支援　■体験活動　■芸術・文化　■スポーツ　■その他（　まちづくり　）

■　活動の概要・特徴的な活動
地域の防災訓練・清掃活動への参加や夏休み、冬休みの体験活動

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
自治会、まちづくり協議会との連携や日枝中学校区での小中連携

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
感染予防対策として人数制限やソーシャルディスタンスを保ちながら小中、地域の方が共に学ぶ場、交流する場として夏休みは「森のクラフトづくり」にチャレンジした。
冬休みには２年ぶりに書道教室を開催することができた。対象学年を６年生のみ定員20 名までの募集とし中学校の吹奏楽部と甲西高校書道部のパフォーマンスはできなかったが会の後半に交流を深めるため、小中学生が協力しながら進める謎解きゲームを企画した。

【　森のクラフトづくり　】

■　事業の成果と課題
昨年はできなかった小中連携事業を今年そのような形で行えるのか、行う意味があるのかと悩むこともあった。クラフトづくりはCS の学校づくり委員会から企画の提案があり積極的に取り組むことができ、子どもたちが普段使わない道具を使って集中する姿が見られた。自然体験活動の指導者とのつながりもでき来年以降も連携が期待できる。書道教室では参加人数は少なかったがその分アットホームで小中学生の交流が深まった。参加した６年生からは「来年中学校に入学することへの不安がなくなった」という感想があり中学生からは「小学生と活動できて楽しかったし学校で見かけたら声をかけてほしい」と応えてくれた。

■　その他
これまで日枝中学校区で行ってきた小中連携は中学生に先生役になってもらい小学生の勉強や体験活動をサポートしてもらう会だったが、参加者として子ども同士同じ場にいることで心が通い合う姿が見られた。コロナ禍でこうした活動が心の育ちには重要であることを改めて感じた。

報告書記入者（ 地域学校協働活動推進員 ）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ 茶道クラブ	蒲生東・西・北小学校 朝桜中学校　学校運営協議会：□有　■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　開始年度：平成 14 年度：
年間開催日数：９日（開催ペース：月１日）　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：５人　平均スタッフ数：１人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・茶道経験のない子がほとんどなので基本から学んでいる。
・茶道の所作と併せて基本的な礼儀作法についても話をしている。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・指導者を見つけるために人材バンクやボランティアグループのリストを利用している。他に指導者間のネットワークも利用。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・年度末に体験教室を開き、面白さや楽しさをより多くの子どもたちに感じてもらい次年度のクラブ員増につながるよう工夫をしている。
・コロナ対応としては、活動中のマスク着用はもちろん、活動を始める前に子ども・大人全員の検温および手指消毒を実施している。

【　体験会の様子　】

■　事業の成果と課題
・クラブ員はより深く茶道を理解することにより、積極的に練習に集中する様子が見られる。
・動き自体が地味なものなので、その面白さが理解されにくい。

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ ガリ版クラブ	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会：□有 ■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：令和元年度：
年間開催日数：８日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：４人　　平均スタッフ数：１人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・制作上の面白さと同時にガリ版発祥の地としての意義もつたえている。
・一人ひとり制作する内容が違うので、それぞれの思いを大事にしている。
・ガリ版を生活に生かす方法として、トートバッグなどにも印刷をしている。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・ガリ版の伝承と啓発に努められている新ガリ版ネットワークの方に指導をお願いしている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・最初は簡単な作業でできるガリ版印刷をおこない、次第に自分のすきな図柄などに移行していくようにしている。また、布製のトートバッグなどにもガリ版印刷をし、目先を変えている。

【　体験会の様子　】

■　事業の成果と課題
・ガリ版印刷の楽しさを理解してもらうと同時に、蒲生地区がその始まりの地であることを理解してもらえた。
・地味な作業であるためＰＲがむつかしく、仲間の輪を広げるのがむつかしい。

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ マックスダンス　初級	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会：□有 ■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 24 年度：
年間開催日数：８日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：24 人　　平均スタッフ数：１人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・初級のメンバーはほとんどがダンス未経験者である。また低学年が多い。
・基礎的なステップを中心にダンスの練習を行っている。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・初級クラスにおいては、練習でも発表でも常に楽しい雰囲気を大切にしている。そのため、子どもたちの意欲が継続し高まるように工夫している。
・初級はメンバー数が多いので、より広い場所（小ホールフロア）に会場を移して密にならないようにしている。

【　練習の様子　】

■　事業の成果と課題
・子どもたちは意欲的に教室に参加している。
・今まで継続的に行われてきた教室であるため、翌年はレベルを上げた教室に参加する子どもが多く、段階を経て上達することができている。
・練習時間が短いために全体の動きを合せるのが難しいことがある。

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ マックスダンス　中級	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会：□有　■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 26 年度：
年間開催日数：８日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：12 人　　平均スタッフ数：１人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・初級クラスより難度の高いステップを中心に、フリースタイルダンスの練習を行っている。
・初級クラスでダンス経験を積んだ子どもたちの加入が多く、より高度な内容で目標を定めて活動を行っている。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・みんなで共通の目標を持ちながら活動するようにしている。
・目標を持たせ、子どもたちもメリハリを持って練習に取り組めるように工夫している。
・少人数のため密にはならないが、活動中は常に窓を開けておくなど、換気に注意している。また活動前に検温と手指消毒を行っている。

【　発表会の様子　】

■　事業の成果と課題
・子どもたちはより難度の高い技能を希望するようになり、意欲的な取組みの姿勢が見られた。
・ダンスが高度になるほど、その技能の習得にも個人差が出てくるためステージ発表をどのレベルで納得させ、演技するのかが指導者として難しい。

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ マックスダンス　上級	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会：□有　■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 27 年度：
年間開催日数：８日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：10 人　　平均スタッフ数：１人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・中級クラスより難度の高いステップを中心に、フリースタイルダンスの練習を行っている。
・中級クラスでダンス経験を積んだ子どもたちの加入が多く、より高度な内容で目標を定めて活動を行っている。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・みんなで共通の目標を持ちながら活動するようにしている。
・目標を持たせ、子どもたちもメリハリを持って練習に取り組めるように工夫している。

【　練習の様子　】

■　事業の成果と課題
・子どもたちはより難度の高い技能やステージ発表を希望するようになり、意欲的な取組みの姿勢が見られた。
・ダンスが高度になるほど、その技能の習得にも個人差が出てくるため、ステージ発表をどのレベルで納得させ、演技するのかが指導者として難しい。

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ KIDS　FLOWER（キッズフラワー）	蒲生東・西・北小学校　学校運営協議会：□有　■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 14 年度：
年間開催日数：６日（開催ペース：２か月に１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：６人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・フラワーアレンジメントの基礎的な作り方やアレンジの方法を習得する。
・じっくりと落ち着いて取り組むことで、創造することの楽しさを味わってもらう。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・指導者同士のネットワークを利用し指導者の確保に努めている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・楽しみながら活動することを通じて、仲間づくりもできるように工夫している。
・作品を年度末のマックスクラブ発表会などに展示して、創作意欲を高めるようにしている。

■　事業の成果と課題
・熱心に作成する子どもたちの様子から集中力や持続力を養えたと考える。
・フラワーアレンジメントに対するアレンジ力や創造力が身についた。
・材料費がかかるため、少ない予算の中で充実した活動を行うのは大変である。

【　クラブ員の作品　】

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ あかねジュニアバンド	蒲生東・西・北小学校　学校運営協議会：□有　■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 28 年度：
年間開催日数：39 日（開催ペース：週１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：13 人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・子どもの健康を考え、永久歯が生えそろう小学３年生以上を対象にしている。
・週１回の合同練習と楽器を家に持ち帰っての練習で、技術レベルが落ちないようにしている。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・クラブ員の保護者など、経験のある方の協力を得ている。
・指導者の知り合いなどで他地域の指導している方の協力も得ている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・練習が単調にならないよう簡単な曲を演奏するようにしている。
・発表会に出場して、ステージに対する意欲を高めるとともに、年間の活動についてもメリハリをつけるようにしている。

■　事業の成果と課題
・曲が演奏できるようになると、よりよいものへと子どもたちも求めるようになってきた。
・保護者の方で楽器心得のある方が補助としてサポートしてくれるようになった。
・週一回の練習のため、上達速度がおそい。

■　その他
・コロナ禍のため、息を吐く吹奏楽はより感染防止に気を使わざるを得ない。

【　発表会の様子　】

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ 陶芸クラブ	蒲生東・西・北小学校　学校運営協議会：□有　■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 14 年度：
年間開催日数：８日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：９人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・好きな作品を作ったり絵付けをしたりして、思い思いの作品作りをしている。
・マックスクラブ発表会で地域の子どもたちに体験教室を実施している。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・職員以外の人にも声をかけ、幅広く人材を探している。
・クラブ員の保護者に当番制を敷き、活動日には２名ずつ補助として入ってもらっている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・子どもの自主性を尊重し出来るだけ指導者は手を出さないようにしている。
・体験教室を実施することで、その面白さや楽しさを他の子どもたちに体験してもらいクラブ員を増やす工夫をしている。
・活動時は飛沫防止パネルを使い、隣接した子ども同士の感染に注意している。

■　事業の成果と課題
・陶芸に関心のある子どもが増えており、常にクラブ員が一定数集まる。
・作陶に積極的に取り組み、作品作りに集中する様子が見られた。
・制作時間に個人差があるが、早く終わった子どもには複数の作品制作をすすめている。

【　作陶の様子　】

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ わくわくチャレンジ隊	蒲生東・西・北小学校　学校運営協議会：□有　■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 20 年度：
年間開催日数：６日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：10 人　　平均スタッフ数：４人
・活動内容：□学習支援　■体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　■その他（　郷土学習　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・館外活動が基本であり、子どもの五感を使っての活動をこころがけている。
・地域の自然にふれあいながら、新たな発見を体験する。
・低学年は保護者と一緒に、高学年は自分一人で活動してもらっている。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・蒲生地区にお住まいの方で協力していただける方を、その回の内容に応じて依頼している。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・活動内容の中で継続して観察するものや比較して違いを認識するものなどでクラブ員の興味を引き付けるようにしている。

■　事業の成果と課題
・東近江地域への理解を深めることができた。
・クラブ員に年齢差があり、同じ内容の活動をしても遅い早いができる。
・活動場所が野外のため、天候に左右される場合がある。

【　カヌー体験　】

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

子どもの五感を最大限に使って豊かな心や生きる力を育む

東近江市	蒲生マックスクラブ 蒲生野太鼓わらべ組	蒲生東・西・北小学校	学校運営協議会：□有 ■無

主な活動場所：蒲生コミュニティセンター　　開始年度：平成 14 年度：
年間開催日数：36 日（開催ペース：週１日）　　地域学校協働活動推進員数：１人（兼務１人）
平均参加人数：15 人　　平均スタッフ数：５人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
・基本的な和太鼓の演奏方法を学習する。
・和太鼓文化に触れながら、演奏技術の向上と集団で演奏する楽しさを学ぶ。
・通常の練習は、初心者と経年者を時間差で分けて練習している。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
・わらべ組を卒業した高校生や大学生・社会人などに指導してもらっている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・習熟度別に初心者向きと中級者向きとに分かれて練習し、子どもたちの意欲が途切れないように工夫している。
・先輩が後輩を指導する等の縦のつながりも大切にしながら活動している。
・練習時間をいつもより短くして、マスクをしながら練習している。

【　体験の様子　】

■　事業の成果と課題
・マックスクラブを卒業しても、上部団体の「鈴温泉太鼓」に加入し、和太鼓を続けるクラブ員が多い。後輩（わらべ組）の指導にも積極的に協力してくれるので、小中学生と青少年層とのつながりができている。

報告書記入者（　蒲生マックスクラブ　代表　）

夢中になれるものを見つけよう。ダンスは皆を笑顔にしてくれる！

東近江市	活動名　：キッズダンス（初級）	玉緒小学校	学校運営協議会　：□有　■無

主な活動場所：わたむきホール　　開始年度：平成 27 年度：
年間開催日数：48 日（開催ペース：月４日）　　地域学校協働活動推進員数：２人（兼務１人）
平均参加人数：10 人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　□芸術・文化　■スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
インストラクターの指導により、低学年層の時から音楽のリズムに合わせて体を動かせる様にした。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
今年はコロナ禍でもあり、地元等への発表は控えた。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
新型コロナウイルス感染症が長引き、わたむきホールに会場を変えてダンス会場の換気、教室の消毒、体温測定、手指の消毒等を厳重に行った。

【　教室の様子　】

■　事業の成果と課題
コロナ禍による巣ごもりでの運動不足解消には大きな成果があったと考える。

報告書記入者（　玉緒地区地域教育協議会　代表　）

夢中になれるものを見つけよう。ダンスは皆を笑顔にしてくれる！

東近江市	活動名　：キッズダンス（中級）	玉緒小学校	学校運営協議会 ： □有　■無

主な活動場所：わたむきホール　　開始年度：平成 27 年度：
年間開催日数：48 日（開催ペース：月４日）　　地域学校協働活動推進員数：２人（兼務１人）
平均参加人数：10 人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　□芸術・文化　■スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
　インストラクターの指導により、低学年層の時から音楽のリズムに合わせて体を動かせる様にした。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
　今年はコロナ禍でもあり、地元等への発表は控えた。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
　新型コロナウイルス感染症が長引き、わたむきホールに会場を変えてダンス会場の換気、教室の消毒、体温測定、手指の消毒等を厳重に行った。

■　事業の成果と課題
　ダンスに興味を持って欲しい。
　仲間づくりができるように。

【　教室の様子　】

報告書記入者（　玉緒地区地域教育協議会　代表　）

プログラミングで楽しもう！

東近江市	活動名：小学生のプログラミング教室	玉緒小学校	学校運営協議会 ： □有　■無

主な活動場所：玉緒小学校内　　開始年度：令和３年度：
年間開催日数：５日（開催ペース：月１日）　　地域学校協働活動推進員数：２人（兼務１人）
平均参加人数：12 人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：■学習支援　□体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動
　パソコンを動かす所から始めた。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
　平和堂の催し、発表会に参加した。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
　手指の消毒の徹底。マスク、体温測定は事前に行い、教室の換気も行った。

■　事業の成果と課題
　子どもたちが楽しめた。
　コマンドの利用ができるようになった。

【　平和堂の催しに参加　】

報告書記入者（　玉緒地区地域教育協議会　代表　）

夢中になれるものを見つけよう。ダンスは皆を笑顔にしてくれる！

東近江市	活動名：中学生のプログラミング教室	玉園中学校	学校運営協議会 ： □有 ■無

主な活動場所：池田町　葉菜屋の母屋
年間開催日数：10 日（開催ペース：週１回）
平均参加人数：４人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　□芸術・文化　■スポーツ　□その他（　　）

開始年度：令和３年度：
地域学校協働活動推進員数：２人（兼務１人）
平均スタッフ数：２人

■　活動の概要・特徴的な活動
パソコンを動かす所から始めた。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
平和堂の催し、発表会に参加した。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
手指の消毒の徹底。マスク、体温測定は事前に行い、教室の換気も行った。

【　プログラム画面　】

■　事業の成果と課題
子どもたちが楽しめた。
コマンドの利用ができるようになった。

報告書記入者（　玉緒地区地域教育協議会　代表　）

自然を楽しもう！

東近江市	活動名：農業体験・田園アートクラブ	玉緒小学校	学校運営協議会 ： □有 ■無

主な活動場所：上大森町　農地・田
年間開催日数：２日（開催ペース：月１日）
平均参加人数：20 人
・活動内容：□学習支援　■体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

開始年度：令和３年度：
地域学校協働活動推進員数：２人（兼務１人）
平均スタッフ数：２人

■　活動の概要・特徴的な活動
自然の中での田園や畑で走り回る事で、健全な遊び健康の増進を図り、情操を豊かにする。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
豊かな田園資源の活用で大人と子どもで楽しめ、健全な育成を図る。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
マスクの着用、アルコールで手指の消毒、手洗いの励行をしっかり行い、ソーシャルディスタンスを守り、密集密接にならない様に配慮する。

【　芋掘り体験　】

■　事業の成果と課題
事業を行う日程の都合上、天候に左右されやすい。

■　その他
地元の農家さん等の協力が必要。

報告書記入者（　玉緒地区地域教育協議会　代表　）

英語を楽しもう！

東近江市	活動名：小中学生のネイティブスピーカー英会話	玉緒小学校・玉園中学校　学校運営協議会 ： ■無

主な活動場所：村町の公民館等　　開始年度：令和３年度：
年間開催日数：10 日（開催ペース：週１回）　　地域学校協働活動推進員数：２人（兼務１人）
平均参加人数：５人　　平均スタッフ数：２人
・活動内容：□学習支援　□体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　■その他（英会話　）

■　活動の概要・特徴的な活動
生徒のレベルに沿った英会話レッスンを行う。
子どもの英語の発活量を増やす事。

【　活動の様子　】

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
従来から子どもキッズ活動に参加していた子が大きくなり、英語を教えに参加してくれている。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
マスクの着用、アルコールで手指の消毒、手洗いの励行をしっかり行い、ソーシャルディスタンスを守り、密集密接にならない様に配慮する。
継続的には、身近な会話の中で英語に親しみを持ち、活用できる様にする。

■　事業の成果と課題
英語に親しみを覚え、日常会話の中で活用できる。
自然に使えるように、少しずつ行っていく。

報告書記入者（　玉緒地区地域教育協議会　代表　）

みんなでワクワクッキング～わたしも未来のパティシエ～

竜 王 町	活動名：竜王キッズクラブ　クッキングクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会 ： ■有　□無

主な活動場所：竜王町農村女性の家、竜王町公民館　　開始年度：平成 27 年度（中断年度あり）
年間開催日数：年間８日（開催ペース：２か月に１回）　　地域学校協働活動推進員数：３名（兼務　３名）
平均参加人数：１５名　　平均スタッフ数：１名
・活動内容：□学習支援　■体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　□その他（　）

■　活動の概要・特徴的な活動
昨年に引き続き、町内在住の栄養士を講師に迎え、調理の基礎を学びながら、技能の向上をはかり、両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

【ハロウィンお菓子作り　】

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫
町健康推進員を長年務めておられる地元栄養士の方の指導を受けることで、お菓子作りを通じて健康や栄養について分かり易く学ぶことができる。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）
・地元の特産品（果樹等）の有効活用や季節イベントにあったおうちでも親子で簡単に作れるお菓子や料理作りをしている。
・感染拡大防止のため、マスクやフェイスシールドを着用しながら、調理工程を全て１人で行っている。

■　事業の成果と課題
・おうちに帰ってからも親子でクッキングに挑戦したという声もあり、家庭での実践に結びついている。
・感染対策の一環から、全ての工程を１人で調理することで、調理の実践力が高まっている。
・クラブで習得した調理技術が、家庭でのお手伝いの幅を広げている。
・子どもにもわかりやすいようにイラストを挿入したレシピの作成や食材の買い出しなど、職員の負担は大きい。

報告書記入者　（　公民館　公民館係　）

ワクワクサイエンス～ボクもワタシも科学博士～

竜 王 町	活動名：竜王キッズクラブ　サイエンスクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：竜王町公民館　他　　開始年度：平成 18 年度
年間開催日数：年間９日（開催ペース：２か月に１回）　　地域学校協働活動推進員数：３名（兼務　３名）
平均参加人数：16 名　　平均スタッフ数：３名
・活動内容：■学習支援　■体験活動　□芸術・文化　□スポーツ　■その他（　郷土学習　）

■　活動の概要・特徴的な活動

両小学校の異なった年齢の子どもたちが地域の人々との交流を深めながら、科学工作や実験等を通じて、新しい学びや技能の向上をはかり、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地元の自然に関する書籍等の編纂に携わり、自然観察や自然素材を使った工作教室などを手がけている団体や元教師が講師として指導をすることで、低学年の子どもでも分かり易く学ぶことができる。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）

・参加者は低学年が多いため、原則保護者同伴で開催をしているので、兄弟等小さい子どもがいる家庭は、事前に連絡をいただき家族参加も可能としている。
・屋内での活動は間隔を広くとるなど、密にならないように工夫している。

【　化石を磨こう　】

■　事業の成果と課題

・天体観望（夏・冬）、自然観察会、野鳥観察会、科学工作など、サイエンスに関わるいろいろな活動内容に取り組むことにより、理科離れがさけばれる昨今ではあるが、サイエンスをはじめ何事にも興味を持ち、挑戦していく力を養うことができた。
・家族参加も可能なため、知識の向上はもとより、家族間の交流も深まり、情報交換や共有の場にもなった。
・活動開始から 10 年以上が経過しているが、１年生から参加できるクラブのため人気が高い。一方、低学年は保護者同伴とはいえ、対象者が１年生から６年生までと幅広く、みんなの歩調を合わせた活動の進め方が難しい。

報告書記入者　（　公民館　公民館係　）

書道の基礎を学ぼう～心のこもった綺麗な字を習得～

竜 王 町	活動名：竜王キッズクラブ　書道クラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：竜王町公民館　　開始年度：平成 23 年度
年間開催日数：年間 22 日（開催ペース：月２回）　　地域学校協働活動推進員数：３名（兼務　３名）
平均参加人数：21 名　　平均スタッフ数：２名
・活動内容：■学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　　）

■　活動の概要・特徴的な活動

書道を基礎から学び、硬筆と毛筆の技能向上はもちろんのこと、両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

県の展覧会等でも受賞経験のある有段者（元町職員）が講師として指導をすることで連携や情報共有が安易で、より分かり易く学ぶことができる。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）

・小学校２年生から６年生までの小学生を対象として、同じ教材をもとに継続した取り組みができているので、６年生まで継続してくれる子どもが多い。
・マスクの着用はもちろんのこと、机に１人ずつ着席し、密を回避している。

【　硬筆指導　】

■　事業の成果と課題

・技能の向上をめざして、練習（復習）を重ねる継続した取り組みにより、進歩が形となって現れるため、何事にも挑戦し、あきらめない力を養うことができた。
・展覧会への出展や町公民館等で定期的に展示することにより、自信や達成感となり、次へと飛躍する原動力となった。
・月２回のペースで開催をしているため、学校行事や他の習い事などと重なり、日程変更をする場合の調整に苦慮している。
・１人で準備ができない子（２年生）に１人の講師がかかりきりになってしまい、平等な指導が困難。

報告書記入者　（　公民館　公民館係　）

仲間と自分の限界にチャレンジ～今より一歩成長した自分に会おう～

竜 王 町	活動名：竜王キッズクラブ　チャレンジクラブ	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：竜王町公民館　他　　開始年度：平成 22 年度
年間開催日数：８日（開催ペース：２か月に１回）　　地域学校協働活動推進員数：３名（兼務　３名）
平均参加人数：21 名　　平均スタッフ数：２名
・活動内容：■学習支援　■体験活動　□芸術・文化　■スポーツ　■その他（　郷土学習　）

■　活動の概要・特徴的な活動

屋内外の体験にチャレンジをすることで、両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が地域の人々や仲間と交流を深めながら、協力しあう大切さと何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

町生活安全課や自衛隊の協力を得ながら、活動内容を組むことで、普段の学校生活では体験できないことを体感し知識を身に付けられる。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）

・感染拡大防止のため、原則クラブ生のみの参加を条件として開催している。
・２泊３日の防災キャンプは感染拡大防止対策として防災デイキャンプに変更したが、今年初めて自衛隊と連携し充実した内容で実施できた。

【　カヌー体験　】

■　事業の成果と課題

・野外活動が中心となるため安全管理を十分に行う必要があり、内容によっては活動に制限を設けざるを得ないことがある。
・カヌー体験、防災デイキャンプ、スキー教室等では、受講料以外の諸経費を毎回負担金として徴収するため保護者の負担が大きいが、普段体験できない貴重な経験ができるということで保護者の理解は得られている。
・活動内容のマンネリ化や小学生が体験できる屋外アクティビティには、子どもの安全確保のため、大人の引率が必要など様々な条件が重なり内容の決定に苦慮している。

報告書記入者　（　公民館　公民館係　）

明日に煌めけ！未来に羽ばたけ！子ども吹奏楽団

竜 王 町	活動名：竜王キッズクラブ　竜王ユースブラス	竜王小学校・竜王西小学校 学校運営協議会　：　■有　□無

主な活動場所：竜王町公民館　他　　開始年度：昭和 62 年度
年間開催日数：年間 50 日（開催ペース：毎週土曜日）　　地域学校協働活動推進員数：３名（兼務　３名）
平均参加人数：15 名　　平均スタッフ数：３名
・活動内容：□学習支援　□体験活動　■芸術・文化　□スポーツ　□その他（　）

■　活動の概要・特徴的な活動

音楽の基礎知識を学びながら演奏技能の向上と両小学校の異なった年齢の子どもたち同士が発表会等により地域の人々との交流を深め、何事にも挑戦する勇気を育み、自らの可能性を切り拓く「生きる力」を身につける。

■　外部人材や地域の豊かな資源を活用するための工夫

地元企業のサークルで活躍する方や元教師の方が講師として指導を行うことで、わかり易く学ぶことができる。

■　体系的・継続的な取組にするための工夫　（コロナ禍における工夫・対応等）

・３名の講師がいるため、各個人の技能にあわせた練習をすることができる。
・希望楽器の調査を行い、講師が体格や肺活量をみて子どもにあった楽器を選べる。
・卒業生のほとんどが、中学校で吹奏楽部に入部するため、継続した活動ができる。
・楽器演奏による飛沫感染を防止するため、間隔をあけ一方向を向いて演奏している。
・唾抜き部分にビニールを被せ、楽器に溜まる唾の処理を的確に行い感染対策を行っている。

【　楽器練習　】

■　事業の成果と課題

・今般の感染症影響で、様々な発表会が軒並み中止となり、練習の成果を披露できず、モチベーション維持が難しい。
・新しく入部したクラブ生に、経験者が補助をする姿も見られ、責任感や協調性を養うことができた。
・開催時間帯が夜間であるため、保護者の送迎等による理解とあわせて防犯対策を十分に講じる必要がある。

報告書記入者　（　公民館　公民館係　）